

使徒言行録 19 章 23 節～31 節。そのころ、この道のことでただならぬ騒動が起こった。そのいきさつは次のとおりである。デメトリオという銀細工師が、アルテミスの神殿の模型を銀で造り、職人たちにかなり利益を得させていた。彼は、この職人たちや同じような仕事をしている者たちを集めて言った。「諸君、御承知のように、この仕事のお陰で、我々はもうけているのだが、諸君が見聞きしているとおおり、あのパウロは『手で造ったものなどは神ではない』と言って、エフェソばかりでなくアジア州のほとんど全地域で、多くの人を説き伏せ、たぶらかしている。これでは、我々の仕事の評判が悪くなってしまうおそれがあるばかりでなく、偉大な女神アルテミスの神殿もないがしろにされ、アジア州全体、全世界があがめるこの女神の御威光さえも失われてしまうだろう。」これを聞いた人々はひどく腹を立て、「エフェソ人のアルテミスは偉い方」と叫びだした。そして、町中が混乱してしまった。彼らは、パウロの同行者であるマケドニア人ガイオとアリスタルコを捕らえ、一団となって野外劇場になだれ込んだ。パウロは群衆の中へ入っていきこうとしたが、弟子たちはそうさせなかった。他方、パウロの友人でアジア州の祭儀をつかさどる高官たちも、パウロに使いをやって、劇場に入らないようにと頼んだ。

パウロはエフェソを中心にアジア州の諸都市に主イエスの福音宣教を展開していた。エフェソには、世界七不思議の一つとされる、大理石で作られた壮麗なアルテミス神殿が建っていた。アルテミスは沢山の大きな乳房を持つ出産と肥沃と豊穡の、オリエントの女神であった。アジア州の人々は大挙してアルテミス神殿に参拝していた。エフェソの銀細工師たちはアルテミス神殿の模型を作り、参拝者に売って、大きな利益を得ていた。ところが、銀細工師の仕事の評判が落ち、売り上げが減ることを心配して、デメトリオが同業の銀細工師たちを集め下記のように語っている。「諸君、御承知のように、この仕事のお陰で、我々はもうけているのだが、諸君が見聞きしているとおおり、あのパウロは『手で造ったものなどは神ではない』と言って、エフェソばかりでなくアジア州のほとんど全地域で、多くの人を説き伏せ、たぶらかしている。これでは、我々の仕事の評判が悪くなってしまうおそれがあるばかりでなく、偉大な女神アルテミスの神殿もないがしろにされ、アジア州全体、全世界があがめるこの女神の御威光さえも失われてしまうだろう」。パウロの偶像は神ではないという宣教を聞いて、自分たちの仕事は減り、アルテミス神殿の女神の御威光も失せると煽動した。パウロの宣教がアジア州で絶大な力を持っていたアルテミス信仰を揺さぶるような影響を与えていたというから、驚きである。ギリシアの神々の像を祀ったパルテノン神殿を目の前にしたアレオパゴスで、パウロは偶像の無力さを力説していた。エフェソでも、同じ宣教をして、銀細工師たちを振るえ上がらせている。

デメトリオの教唆に同調した人々は怒って、「エフェソ人のアルテミスは偉い方」と叫び出し、町中が混乱した。彼らは、パウロの同行者であるマケドニア人ガイオとアリスタルコを捕らえ、一団となって野外劇場になだれ込み、大騒動になった。パウロは二人を助け出そうと群衆の中へ入って行こうとしたが、危険を感じた弟子たちは止めた。また、パウロの友人でアジア州の高官たちも、パウロに使いをやって、劇場に入らないようにと伝えた。パウロの宣教がアジア州の人々の宗教と生活に、とてつもない影響を与えたのである。古代は信仰に命をかける宗教社会であったが、パウロの働きに圧倒させられる。